



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

10/2018
(通算 701 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス <http://www/kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

原子力災害訓練への参加を

公益社団法人京都府放射線技師会会長 河本 勲則

6 月～9 月の間に北大阪地震、近畿地域の豪雨、台風 21 号による災害が発生しました。近年では記憶にない天災が続き、2 次災害(土砂崩れやインフラへの影響)も一部地域で被害が長期化しています。被害に遭われた府民や会員の方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、早期の復旧を望んでおります。今後も大きな災害に遭遇することもあるかと思われまますので、十分な備えをお願い致します。

さて、京都府放射線技師会では平成 27 年 8 月に各府県、関西広域連合と原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する相互の協力に関して協定を締結しましたことから、毎年行われています原子力総合防災訓練に参加して、原子力災害時の汚染スクリーニング等を行い、住民の被ばく防止と安全確保に協力しています。

現在、当会の放射線管理士会メンバーと技師会執行部・理事が訓練、研修会に参加して、原子力災害時の協力要請に備えているところです。また、京都府から原子力災害医療協力機関に指定登録されましたことから、京都府が行っている防災訓練にも協力要請を受けています。

近畿では、関西電力の高浜、大飯、美浜と日本原子力発電の敦賀の各原発があり 4 原発同時災害も想定しなくてはなりません。また福島第一原発災害のように数十年もの期間にわたり漏えい線量測定業務や周辺住民の被ばく管理を行わなければならないことを想定しますと、多くの専門家メンバーが必要となります。

原子力防災訓練での汚染スクリーニングや住民の被ばく線量測定は、放射線の専門家である診療放射線技師の仕事であり、京都府の原子力災害時においては重要な任務であると考えています。原子力災害時の診療放射線技師の派遣要請には、放射線の知識と訓練を行い活動できる多くの人材確保が必要不可欠であり、会員の皆様におかれましては、日常業務多忙と存じますが、京都府民の安全確保と診療放射線技師の地位向上に、原子力総合防災訓練や研修会への参加をお願いいたします。余談になりますが、西脇隆俊京都府知事就任後のご挨拶に伺いました時、知事から「原子力災害時には診療放射線技師さんの協力がなければ救援活動できませんから、京都府からの派遣要請に十分答えられるよう人手を揃えてしっかり訓練しておいて下さい」とお願いされています。訓練の開催につきましては HP や京放技ニュースにてご案内いたしますので、ぜひともご協力していただける方は、事務所または地区理事まで連絡をお願いします。

最後になりますが、10 月 27 日(土)に京都ブライトンホテルにて開催します当会創立 70 周年記念式典・祝賀会へ会員の皆様の参加を何とぞよろしくお願いいたします。

被災者には会費免除の制度があります

日本診療放射線技師会と京都府放射線技師会では、被災の状況により次年度の会費を免除する制度があります。内容確認や申し込みは、「日本診療放射線技師会ホームページ → 各種手続きについて (新規入会はこちらから ボタンの下) → 会費の免除について」から行ってください。日本診療放射線技師会の承認が得られれば、京都府放射線技師会での免除も自動的に採用されます。

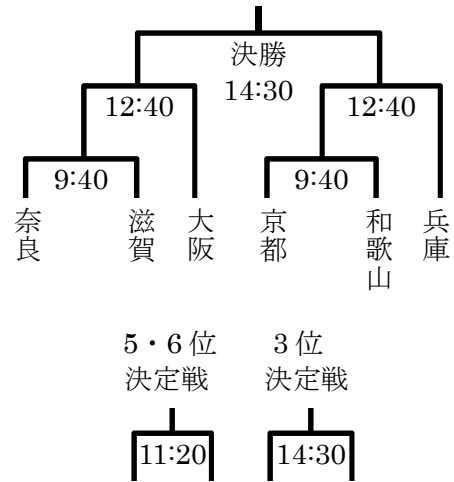
第 65 回近畿地域診療放射線技師会野球大会のご案内

厚生委員会 中川 稔章

平成 30 年 10 月 14 日(日) に第 65 回近畿地域診療放射線技師会野球大会が開催されます。今年の開催担当県は兵庫県です。優勝を目指して頑張りますので、応援宜しくお願いします。

記

開催日 平成 30 年 10 月 14 日(日)
 開催時間 開会式 午前 9 時 15 分～
 第 1 回戦 午前 9 時 40 分～
 準決勝 午後 12 時 40 分～
 決勝戦 午後 2 時 30 分～
 場所 浜甲子園運動公園
 兵庫県西宮市枝川町 20
 連絡先 京都府放射線技師会事務所
 または担当地区理事まで



平成 30 年度

診断領域の線量計校正及びサーベイ実習講習会の報告

管理士会 山根 稔教

平成 30 年度の管理士研修会として診断領域の線量計校正及びサーベイ実習の研修会を 9 月 2 日に開催しました。この研修会は通年行事として毎年この 9 月上旬に開催しています。京都医療科学大学にご協力をいただき大学施設内を会場とし、赤澤先生に講師をお願いし、実習には堀井先生、会場設備等では遠山景子先生にご協力いただきました。ありがとうございました。

講習会は 17 施設で 25 名の参加者があり、合計 26 台の線量計の校正を行いました。最初に線量計校正について赤澤先生から講義があり、線量計校正の意義は、各々の線量計の測定値にはばらつきがあり、その線量計の示す値が真の値とどれくらい違いがあるかを知り、校正を行って初めて真の値が判明するということでした。二番目に最近のサーベイメータの話題として千代田テクノルの小野さんが話されました。日立製の電離箱サーベイメータ、GM サーベイメータのデモ機を手にとって説明され、測定方法の実演もされていました。三番目には、サーベイの方法を提示し実際のサーベイメータを用いた実習を管理士委員より説明し各々で実施してもらいました。ごこちない作業や手馴れた作業状況等で行われていました。2 番目、3 番目の講習と並行してメインの診断領域の線量計校正の実習が行われました。この実習では、診断領域のエネルギーでの校正で、校正場には国家標準と同じく高精度の線量計校正用 X 線装置である TAITAN225S の装置を使用して行われました。実習の校正場は、99.99%の Al フィルタを使用して 70kV と 120kV の 2 つの条件に設定して行われました。皆さん、ご自分の番が回ってきましたら真剣な顔つきになられ、もくもくと作業され距離や数値を懸命に見ておられました。なお、校正した線量計については、公益社団法人 日本放射線技術学会 診断領域線量計標準センターの証明書が郵送にて御施設へ届きます。参加された皆様お疲れ様でした。管理士会では今後も京都医療科学大学のご協力の下、線量計校正やサーベイ実習を通年事業として企画していきますので今後ともよろしくお祈りします。

第 573 回研修会（両丹地区夏季研修会）報告

両丹地区理事 平林 良介

平成 30 年 9 月 1・2 日(土曜・日曜)の両日、京都府中丹勤労者福祉会館（福知山市）にて第 573 回研修会を開催しました。市立福知山市民病院 放射線科の竹内義人先生による「IVR でできること」、京都民医連中央病院放射線技術課の日下陽介・西谷勝弘両氏による「医療被ばく低減施設認定への当院の取り組みと、認定取得のための注意点」、医療被ばくに関連しては(株)キュアホープの島田隆正氏、GE ヘルスケアの佐藤親信氏、バイエル薬品の山内宏祥氏の 3 社から「医療被ばく線量管理システム等」について、また、一般演題として 13 題の発表がありました。

初日 51 名、2 日目 43 名、懇親会 41 名の参加者がありました。研修会に参加して頂いた皆様また色々ご協力して頂きました方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。以下 3 講演を報告します。

【Dr.講演】

「IVR でできること」

市立福知山市民病院 放射線科 竹内 義人

IVR は変化する画像情報をリアルタイムに診断して、適切な処置を行いながら、徐々に目的に近づく治療法である。術前計画とは異なる場面への遭遇は当然想定されるため、シナリオ外のぶっつけ本番的な要素が含まれる。この点は、他の放射線診療と最も異なる特徴といえる。そのスリリングな瞬間をカバーするためには周到な準備が要る。IVR を 6 つのカテゴリーに分け、それに臨み、どのような準備のしかたがふさわしいかを述べる。



- 1) 段取りが複雑で、大所帯のチームで取り掛かるもの。大動脈ステントグラフトを例に挙げると、デバイス手配、手順の整理、情報共有、チームワークが重要なキーと言える。
- 2) ハイリスクで頻度の多くない治療として、頸椎セメント注入術（頸椎形成術）を例に挙げると、担当スタッフによる術前訪問、患者の現場見学、時には患者も含めたスタッフ立合いによる治療リハーサル、現場・手順の確認がポイントである。
- 3) 先行きが読めない治療として、手順の複雑な経皮的門脈形成術を挙げると、手順の徹底確認に加えて、TIPS 等の代替案を考慮しておく。
- 4) 予測困難、全くぶっつけ本番の臨時 IVR として、経皮的異物回収術を挙げると、手順の確認、イメージトレーニング、ハンズオン練習による情報共有が必要である。
- 5) 適応外だが、代替治療が存在しない IVR として、大静脈形成術を挙げると、基本操作の組み合わせ、定理に持ち込むことによって、通常治療に近づけることが必要である。また規格外の症例相談に対しては教科書的に適応がないからといってむげに断らず、本当にそれでよいか？うまくブレイクする方法を模索するために熟考する姿勢が必要である。
- 6) ガイドライン外の IVR 治療として、血管進展を有する肝臓に対する RFA の工夫を挙げた。患者が常にガイドライン通りとは限らない。IVR が真に求められるべきものはガイドライン外のケースに対して如何に対応するかである。このためには日々の鍛錬や準備を怠らない姿勢が求められる。難解であるからといって IVR 医が唯我独尊に陥ることは決して好ましくなく、技師、看護師を含むチーム全員で情報共有することが望まれる。

【特別講演】

「医療被ばく低減施設認定への当院の取り組みと、認定取得のための注意点」

京都民医連中央病院 放射線技術課 日下 陽介・西谷 勝弘

厚生労働省は医療被ばくの適正管理のあり方についての論議を本格的に進めています。病院の安全管理の柱として、「院内感染対策」、「医薬品に係る安全管理」、「医療機器に係る安全管理」等に並んで、あらたに「医療放射線に係る安全管理」を規定しようとしています。

医療被ばくは国民の関心のひとつであり、安心・安全の医療を提供する条件のひとつでもあります。

日本診療放射線技師会が認定する「医療被ばく低減施設」は安心できる放射線診療を国民に提供することを目的に、適切な検査法と診療目的にあった照射条件の最適化及び患者に対して的確な検査説明ができるなどの要件を満たした施設とされています。

これから皆様方の施設で医療被ばく低減施設認定取得を目指す一助となれば幸いです。

【メーカー講演】

「被ばく線量管理システム DOSE MANAGER」

株式会社キュアホープ 診療放射線技師・診療録管理士 代表取締役 島田 隆正

2015 年診断参考レベルが設定され 2018 年には診療報酬において線量管理を行う事で施設基準をクリアすれば加算点数を算定可能となり、医療被ばくの整理・管理・活用が診療放射線科において急務となっております。

ALARA の法則である正当化・最適化・線量制限を院内及び国内で進めていくに辺り、まず施設の医療情報のシステム内容を確認しなければならない。

照射録関係の法整備も進む事が決定され、医療機関は収集した X 線線量データをどのようにシステムに反映するのか確認の必要があります。X 線管球を搭載している医療機器からの照射線量が、どのように出力・取得できるのか確認しなければならない。MPPS 規格なのか、RDSR 規格で収集できるのか？ 全く収集できないのか？ 今一度皆様が取り扱っている DICOM 規格を、勉強しなす時期かもしれません。DICOM 規格は成長しています！ 収集管理保存された X 線線量はあくまでも照射量であり、患者様のダメージを推定するものではありません。

今後被ばく線量管理を院内で構築するならば、その購入するソフトウェアが何をしてくれるのか！ で無くそのソフトウェアに何をさせるのか？ どう使おうか？ と充分考慮すべきです。線量管理システムと被ばく線量管理システムは、違います。

「線量最適化支援ソリューション Dose Watch」

GE ヘルスケア 佐藤 親信

2015 年に DRLs2015、X 線 CT 被ばく線量管理指針が設定され、参考とすべき指標および方法が提言された。また、2020 年には CT 検査と血管造影検査について、患者ごとに被ばく線量の記録を残すよう厚生労働省からの指針もあり義務化に向けて進んでいる。

DoseWatch、Server 型で様々な場所からアクセスでき、HIS、RIS との連携も可能。

院内での被ばくに対する課題発見および解決を支援することができる。

検査別分析：高線量検査はアラート機能で表示される。検査詳細の閲覧も可能。

患者別分析：装置ごとに累積線量を集計、表示することが出来る。

プロトコル別分析：検査数、患者年齢、期間別で分析がおよび DRLs2015 との比較が可能。

機能：SSDE 対応、実行線量、臓器線量の表示、血管造影検査は角度による線量の分布とオーバーラップ表示可能。

「ネットワーク型マルチモダリティ対応線量管理システム Radimetrics」

バイエル薬品 山内 宏祥

国内外において線量管理の重要性が高まりつつある中、線量管理システムを用いた管理が求められてきている。当社の線量管理システムである Radimetrics はマルチモダリティ対応であり、それぞれのモダリティに定義されている線量情報を効率的に収集することができる。そして膨大な量のデータから統計的なグラフを作成することで、線量情報の管理・分析を容易にする。線量情報を可視化することで、プロトコルが適切に使用され続けていること、照射条件が最適な状態であること、ある基準値から逸脱している管理項目がないこと、等の確認に役立てられ、医療レベルの向上に寄与すると考えられる。

「公益社団法人京都府放射線技師会ロゴマーク」決定

ロゴマーク選考委員会 蒲 順之

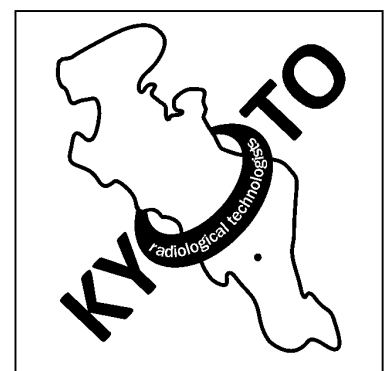
創立 70 周年記念事業の一環としてロゴマークを募集しておりましたが、合計 7 通の応募がありました。応募いただき感謝いたします。

ロゴマーク選考委員会にて審査し受賞作品を決定しましたのでお知らせいたします。

作成者：久保田 裕一さん（関西医科大学附属病院）

受賞作品：右図

京都府の地形に“KYOTO”をクロスして入れることにより X 線の“X”に見立てた放射線技師会ならではの作品になっており、他府県の技師会と比しても唯一無二のものであり、趣旨でもあった技師会のイメージをわかりやすく表したものであることから公益社団法人京都府放射線技師会のロゴマークとして決定いたしました。



第5回理事会報告

平成30年9月7日

議長に中島理事、書記に平井理事を選任し午後7時より議事開始

I. 経過報告及び計画に関する件

1) 経過報告および計画 河本会長

- (経過報告)
- 7月13日 創立70周年記念式典実行委員会 (京放技事務所)
 - 7月15・16日 業務拡大に伴う統一講習会 (京都府立医科大学臨床棟)
 - 7月22日 創立70周年記念式典実行委員会 (京放技事務所)
 - 7月26日 3役会議 (京放技事務所)
 - 7月28・29日 創立70周年記念式典実行委員会 (京放技事務所)
 - 7月28・29日 全国会長会議&ワークショップ (日本診療放射線技師会研修会室)
 - 7月31日 京都地域創生府民会議総会 (ANAクラウンズプラザホテル)
 - 8月3日 第572回研修会 (京都アスニー)
 - 8月4日 平成30年度第1回常務理事会 (京放技会議室)
 - 8月10日 創立70周年記念式典実行委員会 (京放技事務所)
 - 8月26日 平成30年度原子力総合防災訓練 (10名参加) (福知山市三段池公園)
 - 9月1・2日 夏季研修会 (第573回研修会) (福知山市・中丹勤労者福祉会館)
 - 9月2日 線量計校正研修会 (京都医療科学大学)
 - 9月4日 創立70周年記念式典実行委員会 (メール会議)
 - 9月7日 平成30年度第5回理事会 (京放技会議室)
 - 9月8日 平成30年度第1回近畿診療放射線技師会会長会議 (京放技事務所)
 - 9月14日 創立70周年記念式典実行委員会 (京放技事務所)
 - 9月21~23日 第34回日本診療放射線技師学術大会 (海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ)
 - 9月29日 創立70周年記念式典実行委員会会場視察 (京都ブライトンホテル)
 - 10月6日 平成30年度第6回理事会 (京放技会議室)
 - 10月12日 京放技中間監査 (京放技事務所)
 - 10月13日 創立70周年記念式典実行委員会 (京放技事務所)
 - 10月14日 近畿診療放射線技師会野球大会 (浜甲子園運動公園)
 - 10月20日 創立70周年記念式典実行委員会 (京放技事務所)
 - 10月27日 京放技創立70周年記念式典 (京都ブライトンホテル)
 - 10月28日 第45回くらしと健康展 (京都府医師会館)
 - 11月9日 創立70周年記念冊子校正正会議予定 (京放技事務所)
 - 11月10日 京放技第7回理事会 (京放技会議室)
 - 11月17日 医療基礎講習 看護学 (京都府立医科大学看護学舎)
 - 12月8日 京放技第8回理事会 (京放技会議室)

2) 各委員会報告及び計画

【庶務】皿谷理事

- ・会員数8月31日現在555名(先月+8)
- (内訳) 名誉会員4名、正会員526名、賛助会員25名(社)
- ※平成30年度新入会累計25名(再入会2名含む)
- ・7月21・28日、8月20・28・29日 委員会開催 (京放技事務所)
- ・対外文書200件、発刊文書12件(7月1~8月31日)
- ・新卒入会6名、新入会2名、再入会1名を承認

【財務】渡里理事

- ・会費納入状況(平成30年8月末日現在)
- 平成30年度会費納入者319名(61%)
- 平成29年度会費未納者23名(4%)
- ・会費77万円、賛助会費7.5万円、広告費39万円の歳入(7・8月)
- ・事業費1,124,122円、管理費418,976円の歳出(7・8月)
- 7月3・5・31日、8月30日 委員会開催 (京放技事務所)

【学術】後藤理事

- ・7月14・15日 統一講習会開催17名(京都府立医大臨床講義棟)
- ・8月3日 第572回学術研修会開催 (京都アスニー)
- (会員24名+学生19名参加)
- ・9月1・2日 第573回研修会開催(両丹地区夏季研修会)
- (1日目49名、2日目35名参加)
- (京都府立中丹勤労者福祉会館)
- ・10月27日 京放技創立70周年記念式典について打合せ (京都ブライトンホテル)
- (京都府立医大)
- ・11月17日 医療基礎講習 看護学 (京都第二赤十字病院)
- ・平成31年1月 業務拡大に伴う統一講習会開催予定 (京都第二赤十字病院)
- ・2月3日 第574回研修会(府民公開講座) 予定

【編集】中島理事

- ・7月15日 記念式典ポスター発注
- ・7月25日 8月号ニュース校了
- ・8月25日 9月号ニュース校了
- ・9月2日 線量計校正研修会参加 (京都医療科学大学)

【広報・渉外】新井理事

- ・9月以降 くらしと健康展チラシ・ポスター配布
- ・10月27日 くらしと健康展準備・設営予定 (京都府医師会館)
- ・10月28日 くらしと健康展出務・撤収予定 (京都府医師会館)
- ・11月21日 くらしと健康展反省会予定 (京都府医師会館)
- ・12月中 府民公開講座の案内予定一関連する団体へ問い合わせ

【組織調査】蒲理事

- ・7月13日、8月10日 70周年記念式典実行委員会参加
- ・8月26日 平成30年度原子力総合防災訓練参加
- ・新ロゴマークを承認。同等の画像がないか最終確認してから公表予定

【厚生】中川稔章理事(欠席)

- ・10月14日 近畿地域診療放射線技師野会球大会開催予定 (西宮市浜甲子園運動公園)

【情報】大西理事

- ・7月15・16日 業務拡大に伴う統一講習会参加
- ・7月28日、8月11・23日、9月3日 ホームページのトップページ更新
- ・7月30日 ホームページのサーバーの更新契約
- ・8月8日 パスワード付き提供資料の申し込み確認
- ・8月24日 パスワードを発行

【管理士】山根理事

- ・7月25日 管理士委員会開催 (京都中部総合医療センター)
- ・8月25日 原子力防災訓練会場確認と最終打ち合わせ (福知山市三段池公園)
- ・8月26日 内閣府・原子力総合防災訓練10名参加 (京都医療科学大学)
- ・9月1日 総合防災訓練会場確認と最終打ち合わせ
- ・9月2日 平成30年度京都府総合防災訓練4名参加 (綾部市総合運動公園)
- ・線量計校正とサーベイ講習会開催25名参加

【両丹学術】橋岡理事

- ・7月13日 70周年記念実行委員会出席 (京放技事務所)
- ・7月24日 夏季研修会の特別講演竹内医師打合せ
- ・70周年記念講演坪倉医師打合せ
- ・7月25日 西日本豪雨災害義援金依頼文を地区会員に転送
- ・8月21日 河本会長、原口副会長、両名 Dr.坪倉、Dr.竹内訪問手配
- ・9月1・2日 京放技夏季研修会参加 (中丹勤労者福祉会館)
- ・9月2日 両丹地区委員会参加
- ・10月27日 70周年記念式典参加予定 (京都ブライトンホテル)
- ・11月22日 両丹地区秋季研修会開催予定

【受賞者選考委員会】河本会長

- ・平成30年度の勤続30・50年表彰者の選考願いが日放技から届いている。例年通り選考するが、対象者ではないかと思われる方がいれば地区連絡網でお知らせください。

II. 地区経過報告及び計画に関する件

【北地区】河野理事

- ・8月22日 計報連絡をメール配信
- ・9月3日 地区委員会開催調整
- ・9月18日 北地区委員会開催予定 (京都博愛会病院)
- ・10月27日 70周年記念式典参加予定 (京都ブライトンホテル)

【中地区】楡理事(欠席)

- ・7月12・13日 夏季研修会発表打ち合わせ連絡
- ・7月18日 地震、豪雨による災害状況の調査協力をお願い配信
- ・7月24日 平成30年7月豪雨災害における義援金について配信
- ・8月6日 全国学術大会事前登録のお願い配信
- ・9月の研修会等のお知らせを配信
- ・8月20日 計報配信
- ・9月2日 第573回研修会(両丹地区夏季研修会)に中地区より3名発表、1名参加
- ・線量計校正研修会に中地区より2名参加

【東地区】中川政幸理事(欠席)

- ・7月17日 災害調査依頼をメール配信
- ・7月25日 豪雨災害における義援金募集をメール配信
- ・8月3日 第572回研修会メール配信
- ・東5地区委員に澤悟史(京都第一赤十字病院)を承認

【西地区】平井理事

- ・7月26日 西地区委員会開催(7名参加) (三菱京都病院)
- ・西地区懇親会開催
- ・8月21日より地区連絡網メールにて「計報連絡」

【南地区】三浦理事

- ・7月14日 地震・豪雨の被害調査を連絡網配信
- ・7月23日 義援金募集のお願いを連絡網配信
- ・8月5日 日本診療放射線技師学術大会事前登録のお願い連絡網配信
- ・8月20日 計報連絡を連絡網で配信
- ・10月 南地区委員会予定

【両丹地区】平林理事

- ・7月12日、8月3・24日 夏季研修会実行委員会開催
- ・9月1・2日 第573回研修会(夏季研修会)開催 (福知山市中丹勤労者福祉会館)
- 2講演、13演題の発表
- 1日目会員49名+非会員2名=合計51名
- 2日目会員35名+非会員8名=合計43名参加
- ・9月2日 地区委員会開催
- ・11月中旬 秋季研修会を北京都MRI勉強会と合同で開催予定
- ・第573回研修会の決算を承認

【西南部地区】松本理事(欠席)

- ・8月5日 第34回日本診療放射線技師会学術大会の参加のお願いと事前登録についてメール送信
- ・8月20日 計報連絡をメール送信

III. その他

1) 70周年記念事業について

- 記念式典にて表彰される方は、知事表彰：原口副会長、山根理事の2名と日放技会長感謝状：皿谷理事、渡里理事、中川稔章理事、中島理事、楡理事の5名

2) その他

- 日放技から時折アンケート依頼が来ますが、大施設である、京都大学、府立医大、日赤、徳洲会、済生会は回答していただくようにお願いします。

以上、各議案について採択し承認された。

(文責：中島)

求人のお知らせ

南丹市の病院でアルバイトの求人があります。
詳しくは京都府放射線技師会事務所までお問い合わせください。

編集後記

先日、技術学会の「簡易線量計作製セミナー」というイベントに参加してきた。計測部会が開催しているもので、はんだごてを使って電子部品を一つひとつ接続して作成し、今後のメンテナンスも実施してくれるとのこと。また、計測部会の講義もあり、診断参考レベル DRLs や新指標の SSDE の説明もありました。さすが技術学会の部会だけあって、今後の時代の流れについても解説があり、「研究結果は秋の大会で発表します」との説明が多々ありました。その分野の最先端を作っている方々なのだと実感できたことも大いなる収穫でした。一方、技師会は誰でも参加できるような基礎的な講習が多い。基礎中の基礎である基礎技術コース、医療人としてのステップアップを目的にした医療基礎コースが全国で行われている。最先端を開発する技術学会に対して、すそ野を広げる技師会である。私としてはどちらにも顔を出して人脈を広げるのが一番の目的であるので、今後もいろいろと参加してみようと思う。

編集委員会 中島 智也

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- ・京放技創立 70 周年記念式典で京都府知事表彰 2 名、日本診療放射線技師会会長表彰 5 名が表彰される。
- ・平成 30 年度勤続 30・50 年表彰者の対象者であると思われる方は、京放技までご連絡ください。

▶ 10 月以降の京放技活動

10 月 14 日(日)	近畿地域診療放射線技師会野球大会	浜甲子園運動公園
10 月 27 日(土)	京放技創立 70 周年記念式典	京都ブライトンホテル
10 月 28 日(日)	第 45 回くらしと健康展	京都府医師会館
11 月 17 日(土)	医療基礎コース「看護学」	京都府立医科大学

▶ 10 月以降の京都府以外での近隣講習会

10 月 20・21 日(土日)	業務拡大に伴う統一講習会	兵庫県立加古川医療センター
11 月 3・4 日(土日)	業務拡大に伴う統一講習会	草津総合病院
11 月 18 日(日)	基礎技術講習「MRI 検査」	奈良県立医科大学厳樞会館
12 月 8・9 日(土日)	業務拡大に伴う統一講習会	姫路聖マリア病院

会 員 異 動

【新卒入会】6 名

田島 咲紀	京都府立医科大学附属病院 (北 4)	
白子 公己	京都府立医科大学附属病院 (北 4)	
津牧 悠那	宇治徳洲会病院 (南 3)	
稲田 圭一郎	丹後ふるさと病院 (両丹 3)	他 2 名

【新入会】2 名

高倉 亨	宇治徳洲会病院 (南 3)	他 1 名
------	---------------	-------

【再入会】

松下 あゆみ	高槻赤十字病院 (西南 2)
--------	----------------

【転出】 福田 一生(南 1)⇒ 兵庫県放射線技師会へ

【訃報】 松元 誠(西南 4) 御尊父 8 月 20 日御逝去 ご冥福をお祈りします。合掌。